

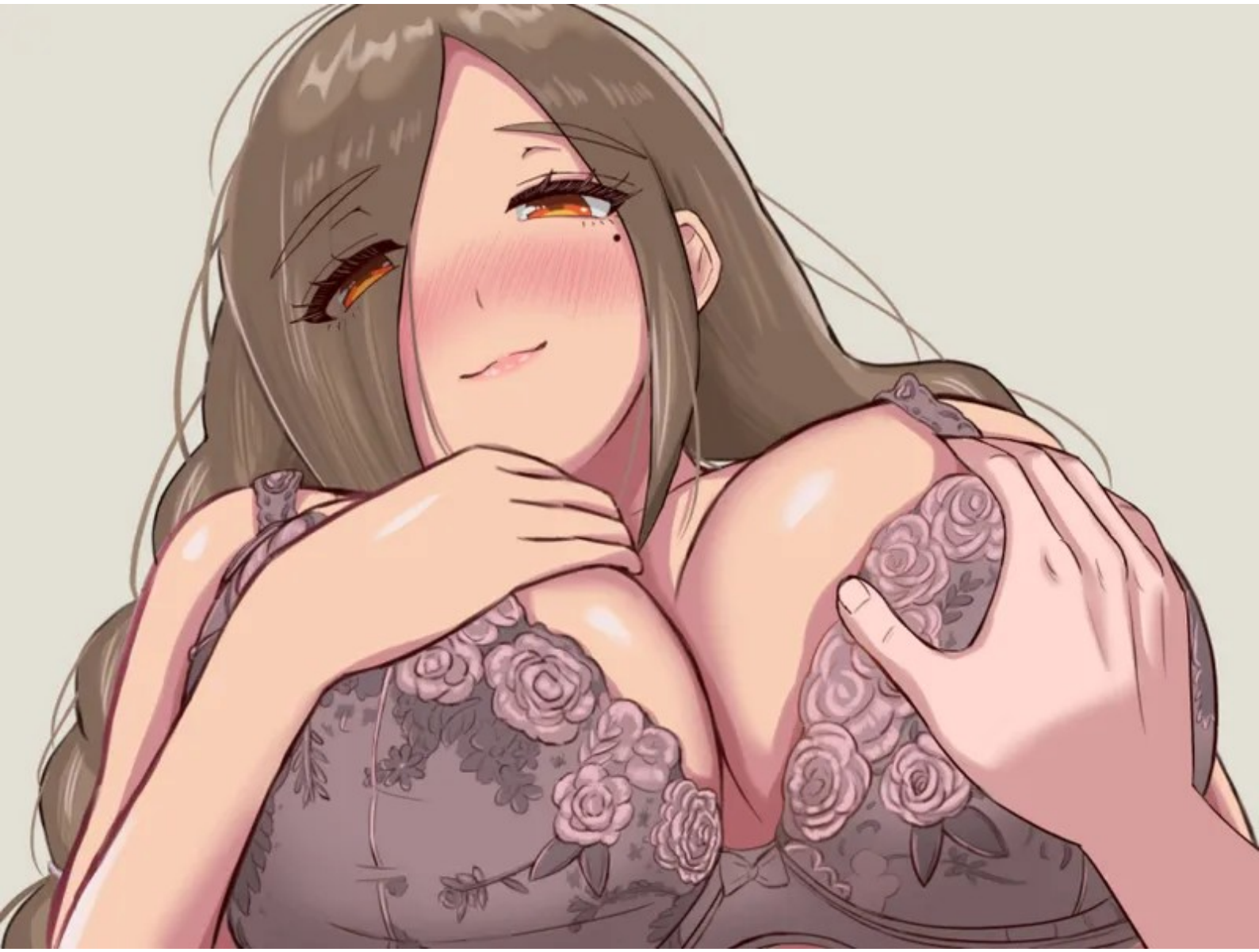


娘さん

お母さんを

ください。

本文 54p



家庭教師のアルバイト



ゴソゴソ

お邪魔します

飲み物とお菓子
机に置くよ
切りのいいところで
休憩してね

ん...

ありがとうございます
お母さん

ママ
ありがとう

お勉強
捗ってる？

うんっ
先生の教え方が
上手だから

いやいや
そんなこと
ありませんよ

まあ
ふふふっ
謙遜なさって

先生





センセイ♡
まってたあ



それじゃ
お勉強
頑張っ
てね

はい
頑
張
り
ま
す



小春ちゃん
ここから
ここまで解いてて

終わったら
休憩してていいから

ちよつと
電話してくる

?
はい
わかりました



フー



浮気してやる



その日はいつもより早く
生徒の家についた
チャイムを押しても反応がない
玄関は開いている

つい魔がさし
いつものように
入ってしまった……

……寝室からこもれる薄明かり
引き寄せられるように
半開きのドアから見たのは
生徒のお母さんの
あられもない姿だった



はあ

はっ

ぐわん……

本能を刺激するような
媚態と嬌声
よがるほどオモチャで
股間をいじくり回しながら

自慰に耽っている結衣さん
いけないことはいえ
目が離せなかった

ビクッ

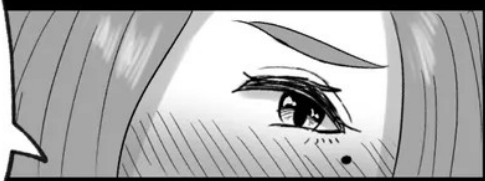




あっあんっ...センセイッ
もっとして...そこっ
センセイッ
...ふやあっあっああ
あああっ...いいっ



そ...それよりもっ
...先生...その...
聞こえてた...?





僕なら結衣さんを満足させますよっ

顔を真っ赤にする
結衣さんが愛しくなり
胸に秘めていたことを
つい口走ってしまった

フ

キッ

よくない……
……こと……
……浮気……
……だけ……

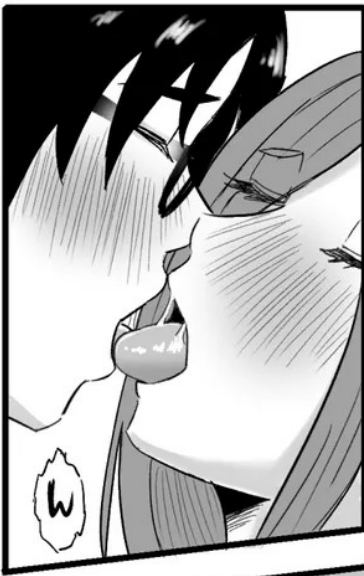
本当にいいの？

えっと……
……本気……？

はいっ

……っ





日増しに大胆になって
きている結衣さん
この盛りを
早く解消して…っ
授業に戻ら…ないとっ

んは♡
ふあ♡

ん♡

けど……っ
この色気と誘惑には
抗えない……っ



あ……っ



さっきまで

ゴッ



センセイのこと
考えながらあ



結衣さんっ

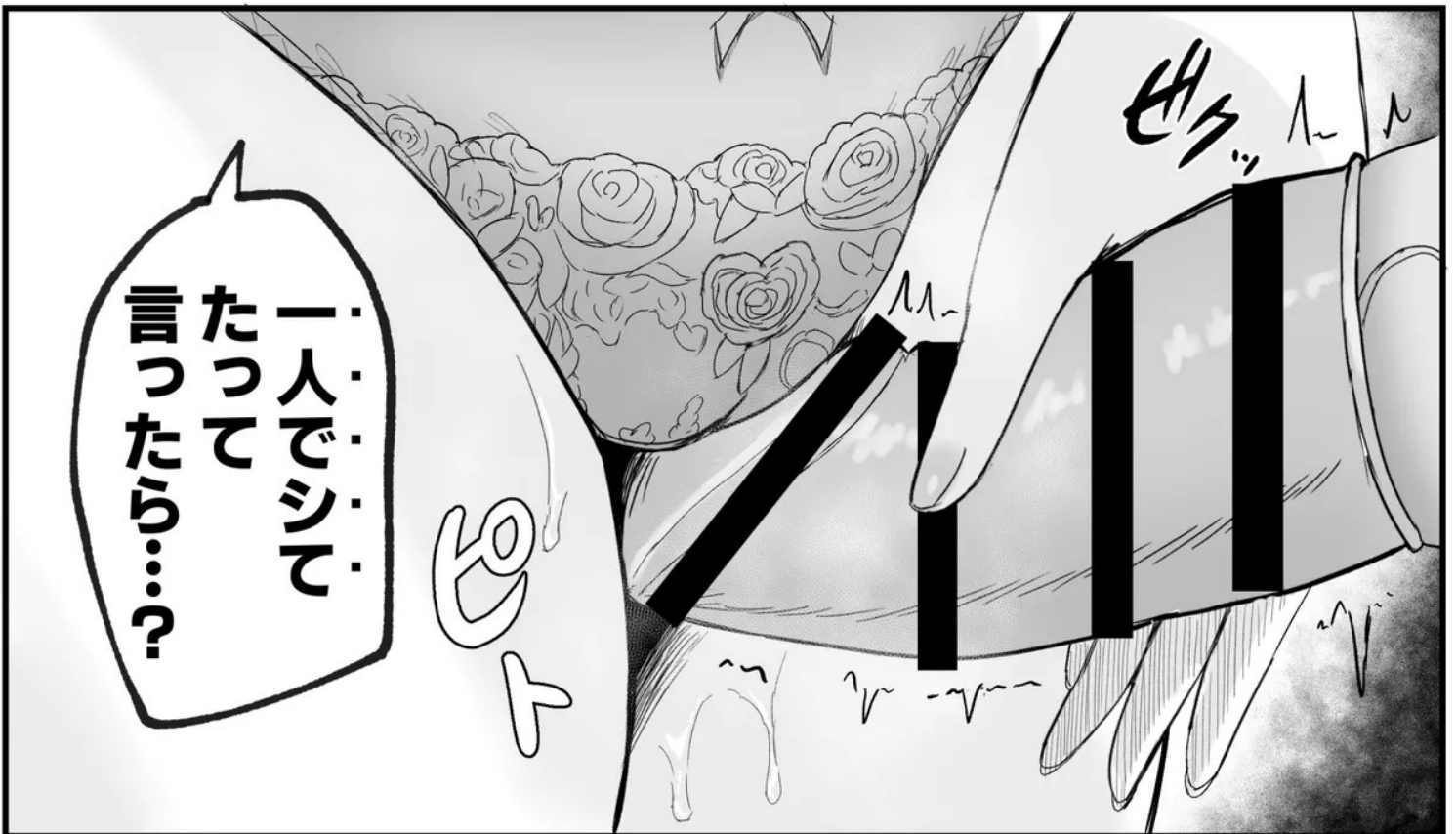
ふふっ

だ…ダメですよっ
どうしてゴムを…っ

えろ？
じゃあなんで
こんなに大きくしてるの
センセ？

ジコ

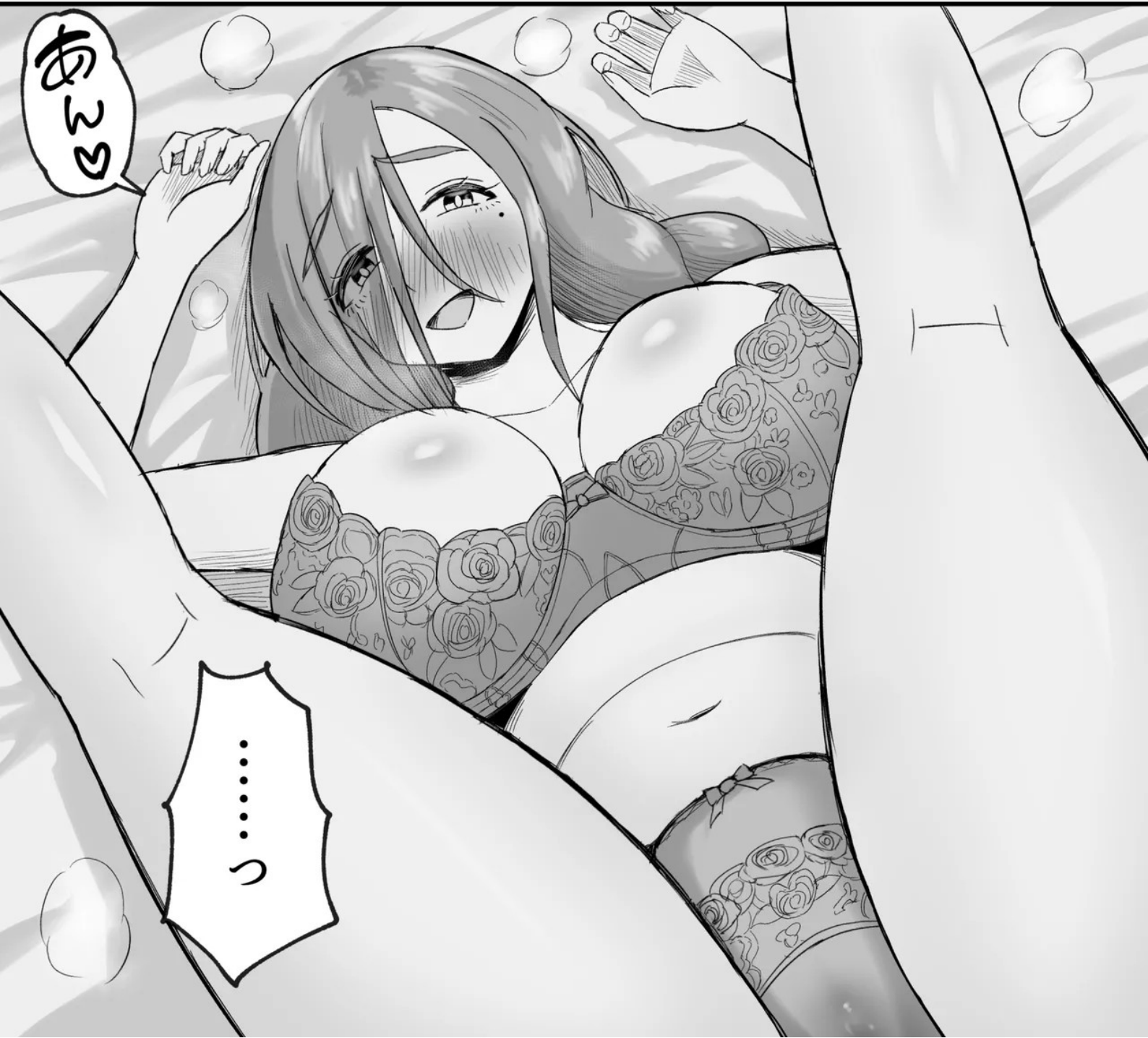
ジコ

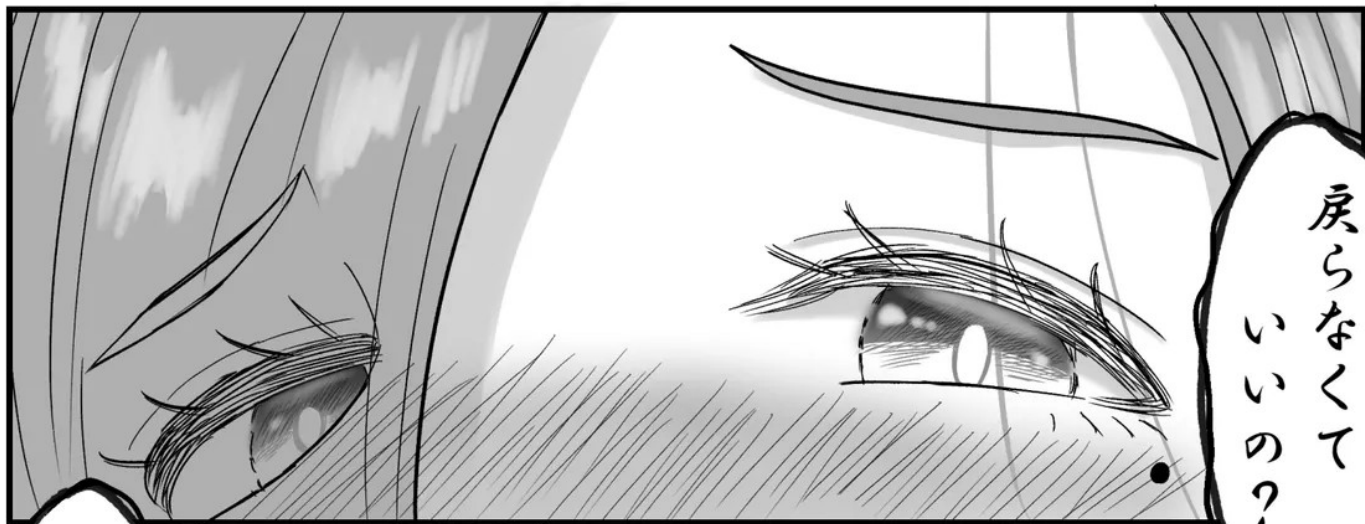


一人ですて
たつて
言ったら…？

ゴト

ハッ





戻らなくて
いいの？

せんせい



はあ、
はあ、
はあ、

はあ、
はあ、
はあ、

はあ、
はあ、
はあ、

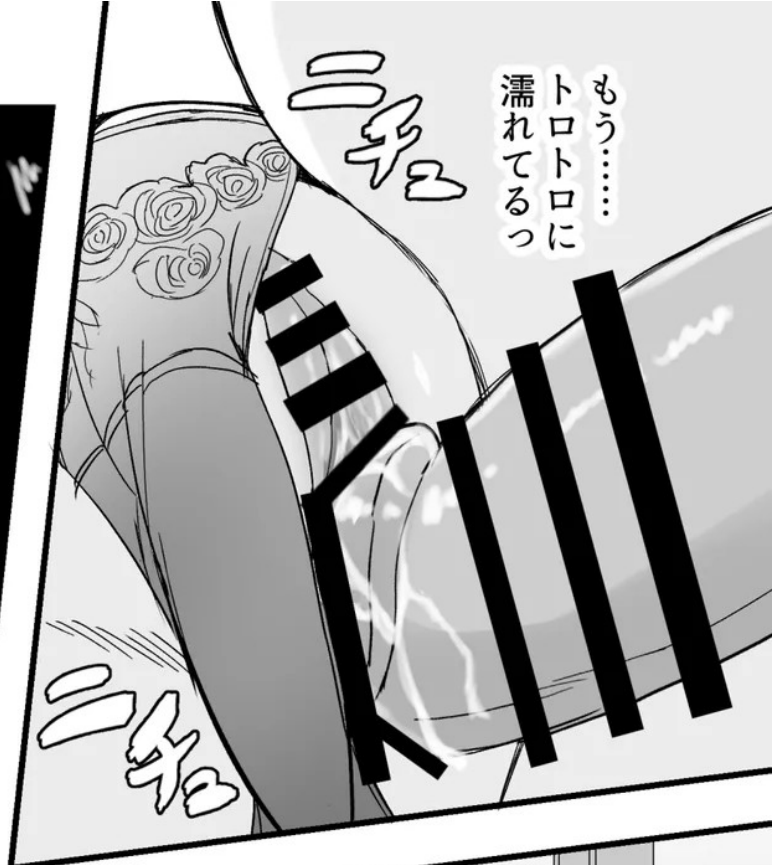
はあ、
はあ、
はあ、



結衣さん……っ

あ

あ



もう……
トロトロに
濡れてるっ



ズッ
ズッ
ズッ

膣内……っ
熱くて蕩けそう

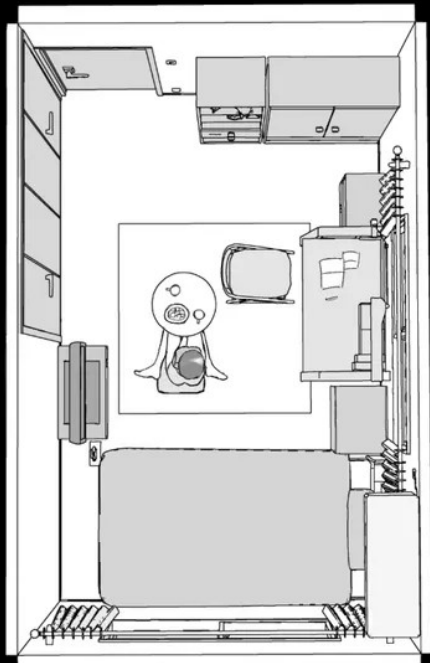
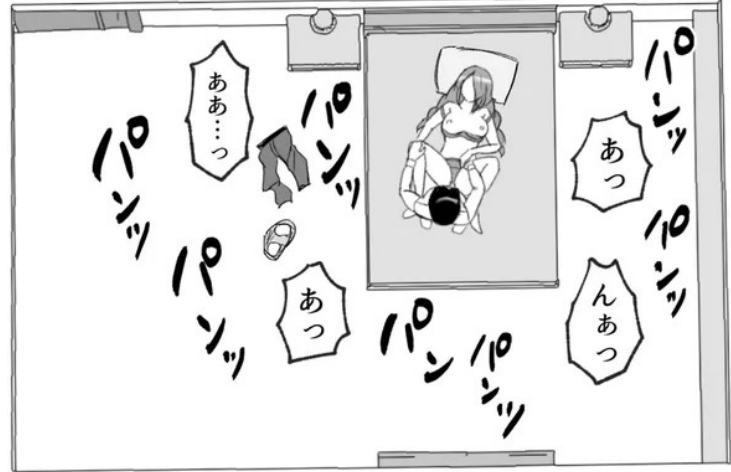
あ
ん

ああ……っ

ふあっ

……
先生……遅いなあ……

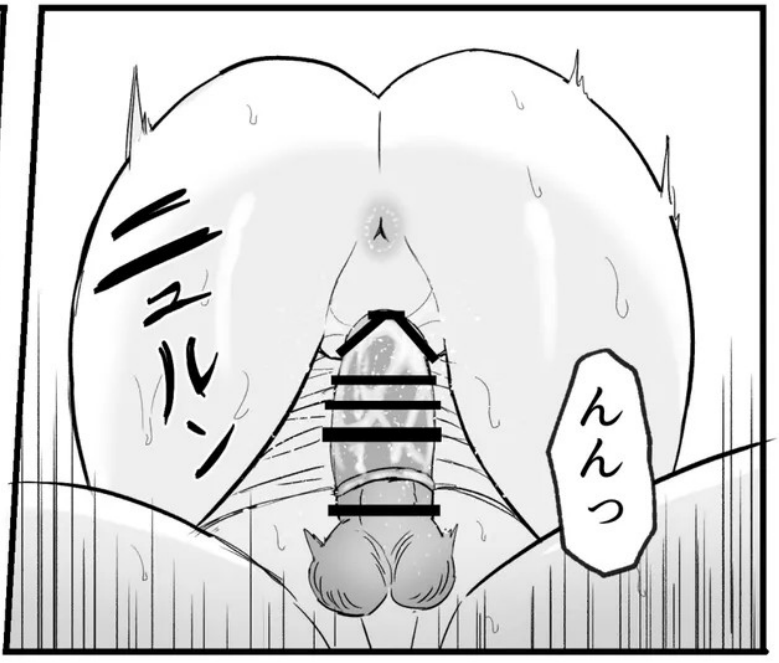
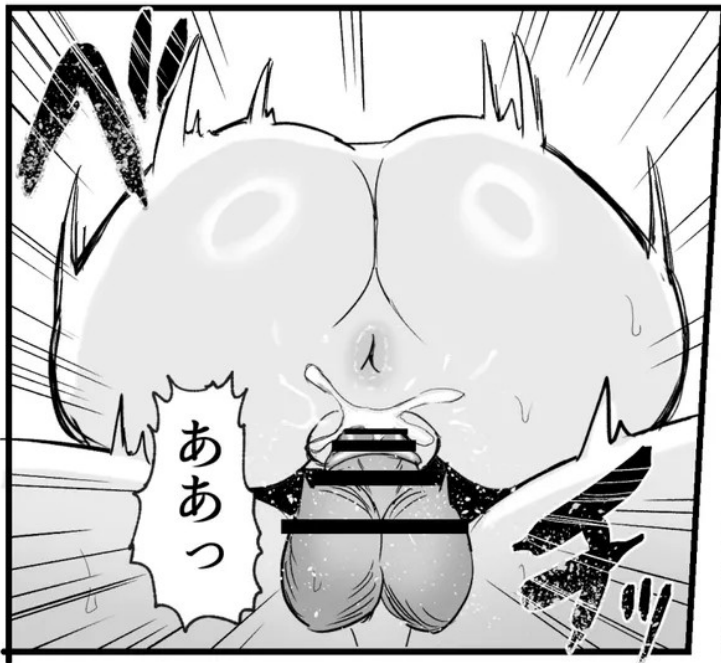
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
早く射精して
終わらせないとっ

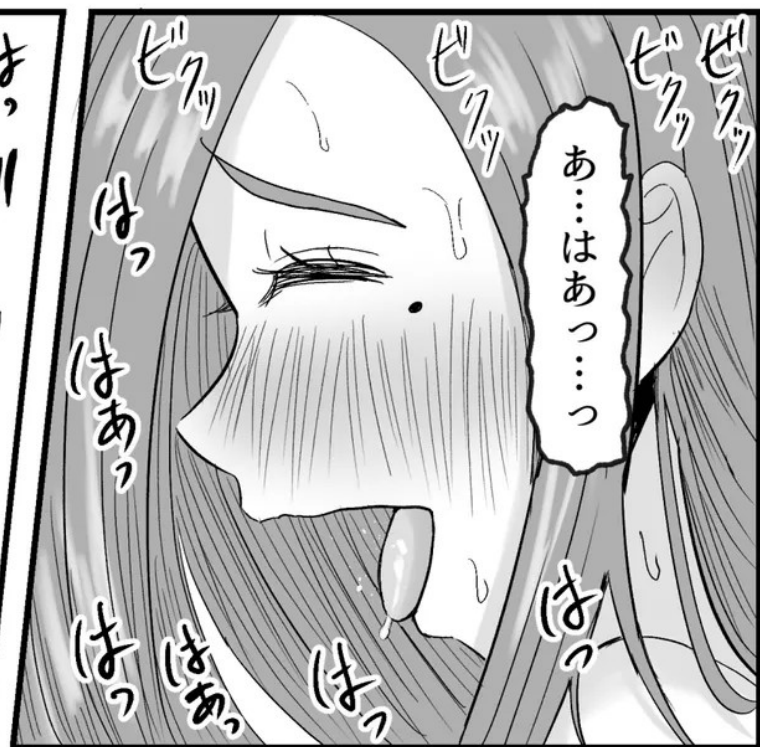




えいッ
ドサッ
おあッ









こはる…ちゃんっ

先生…今ねっ
○キちゃんがでたから
捕ってもらったのっ

はぁ
はぁ



先生どこ
お手洗い？

タタタッ

!?



お部屋で
待っててね

えッ!?

こ…こつちに
来てないよね…っ？

大丈夫
この部屋から
出てないから

う…うん…っ
先生…
絶対に
手洗ってきてねっ

アッ

アッ





先生：電話よ
小春ちゃんみたい

んっ
はい



ふふふっ
今日は家に誰もいないから
やってみたいことって
これなの？

もう
おっぱいは
出ませんよ
センセイ

クチュ
クチュ

クチュ
クチュ



えっ？
ど…どんな服が
好きかって…？

早く
切れちゃう

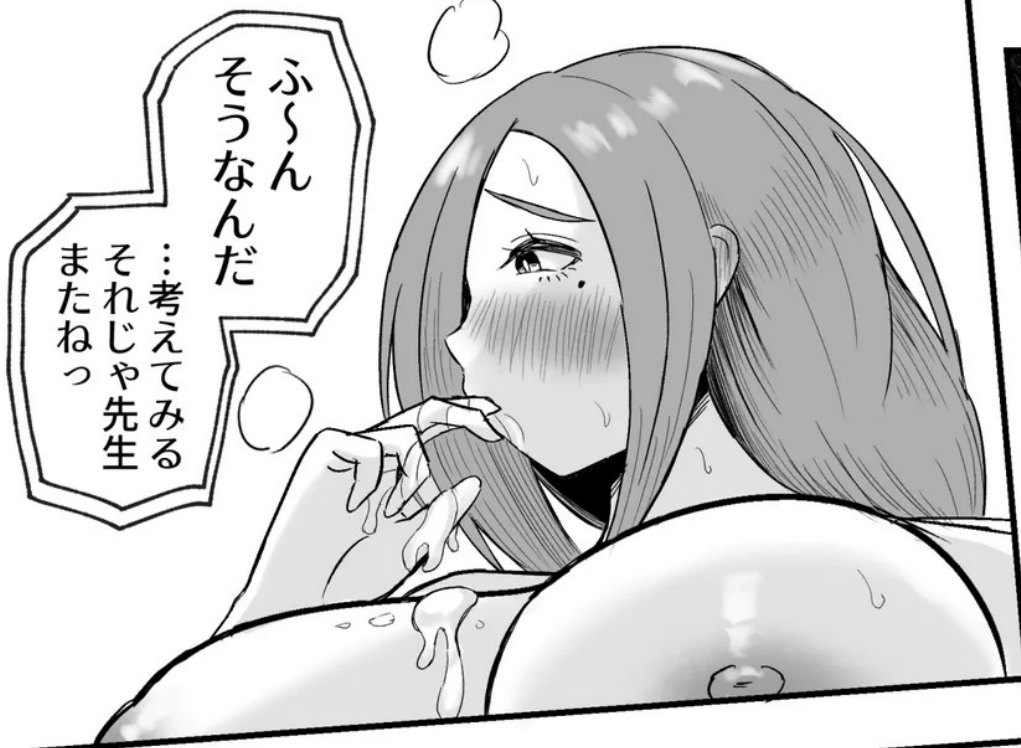
いや…っ
でもっ

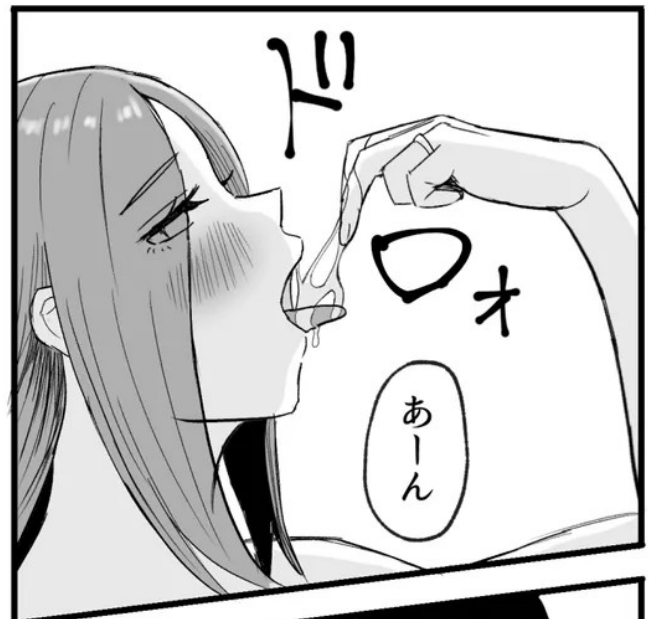
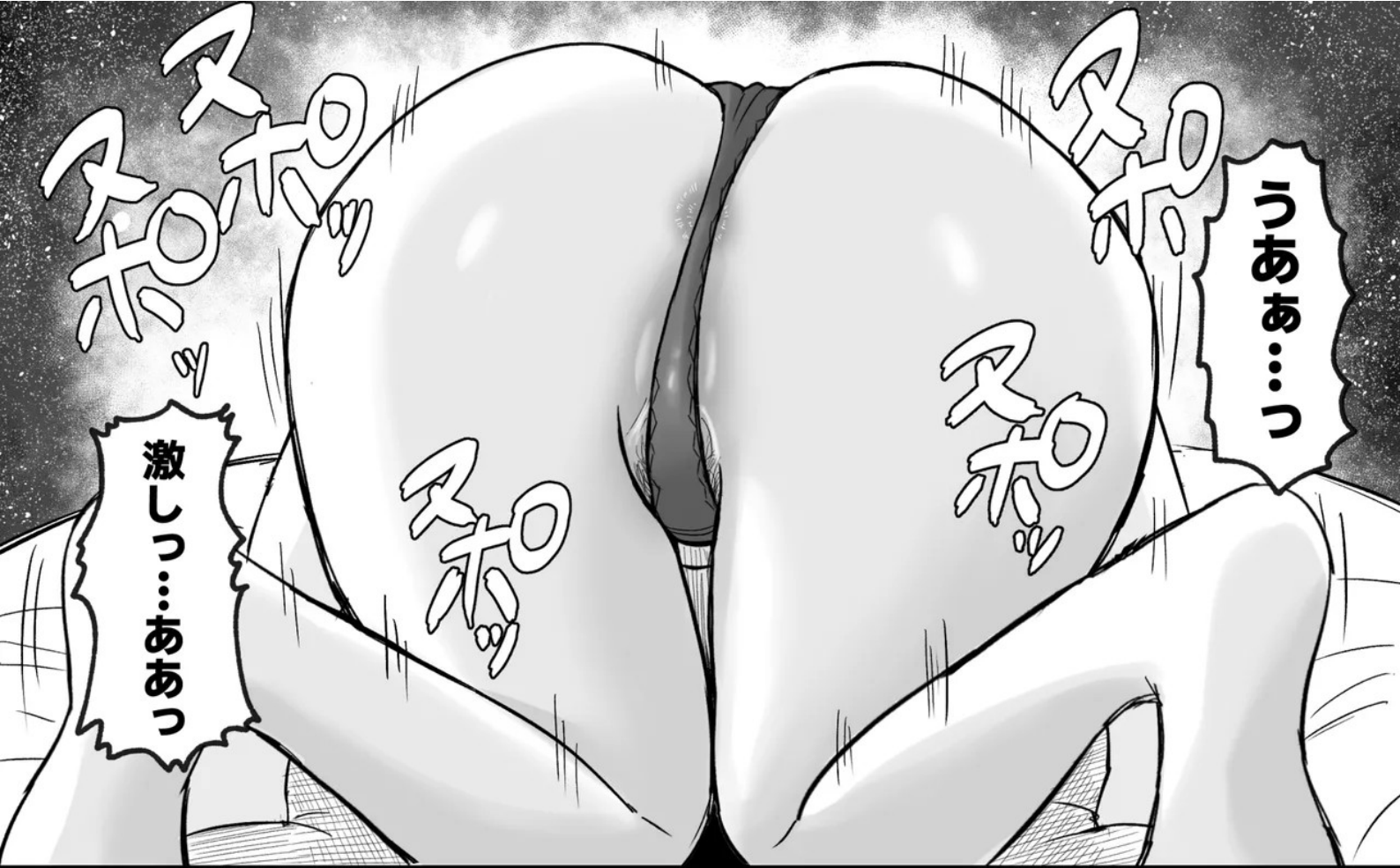
…もしもし
小春ちゃん
え…っ
い…今…？
…特に何も
してなかったよっ

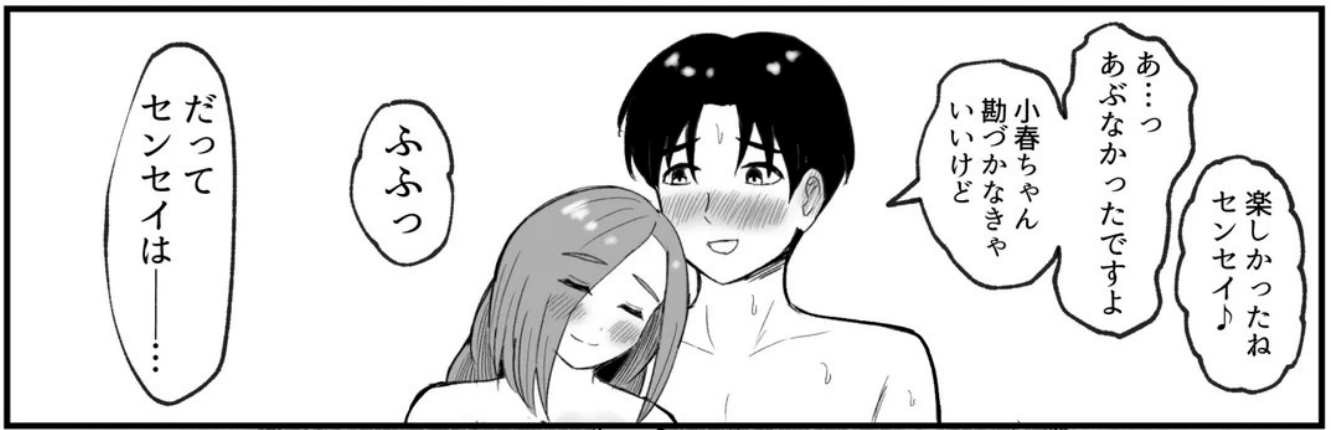


電話にでて
ください先生









楽しかったね
センセイ♪

あ…っ
あぶなかつたですよ

小春ちゃん
勘づかなきゃ
いいけど

ふふっ

だって
センセイは…

もう

私のだから

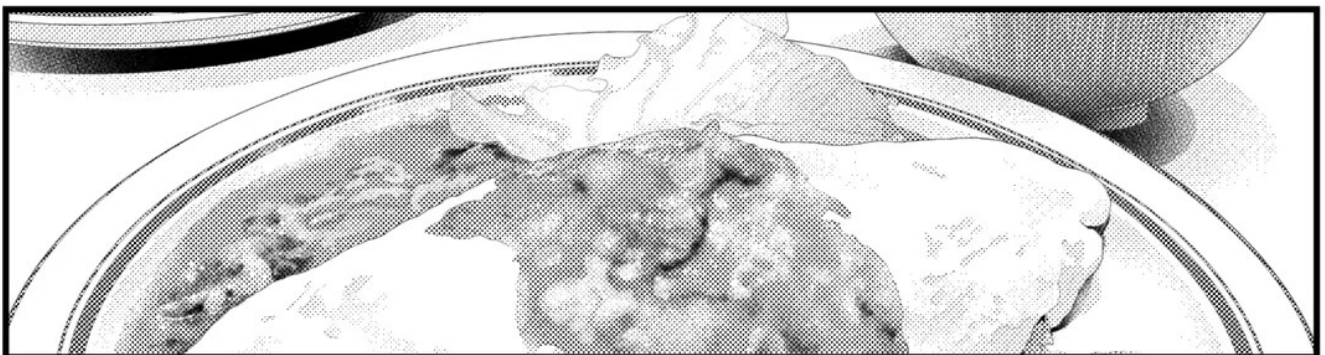


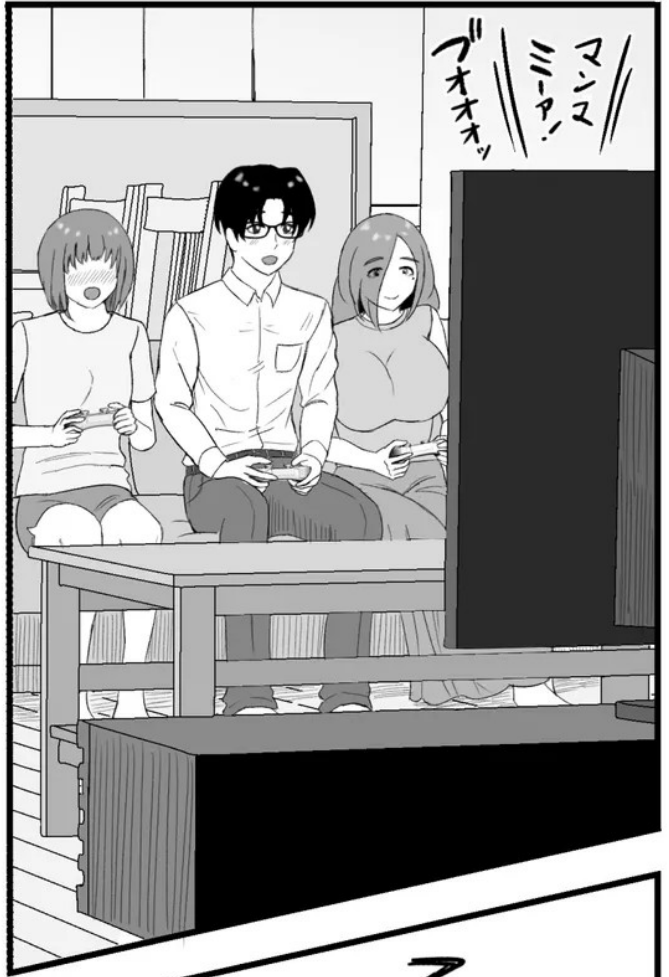
……っ

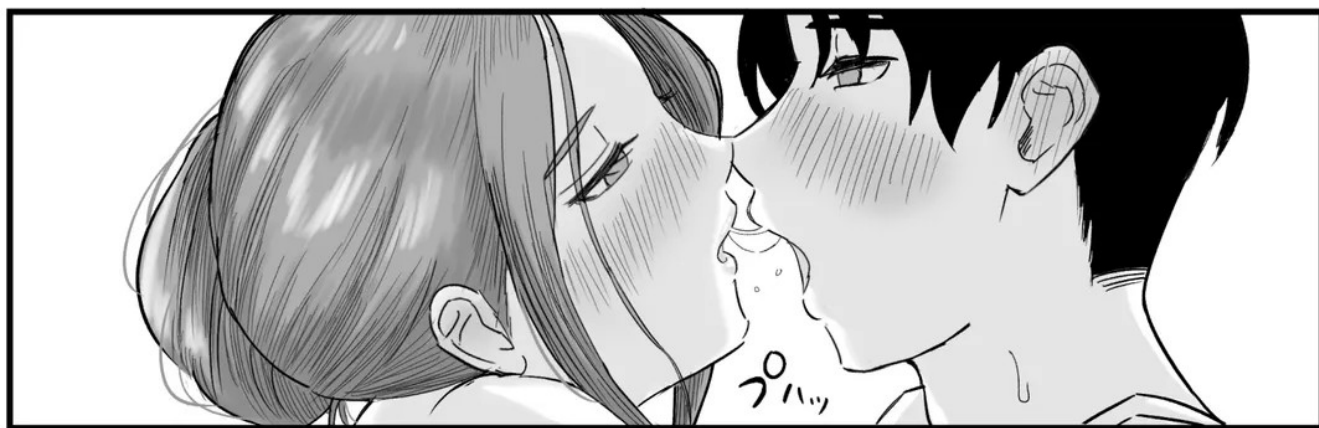
はいっ

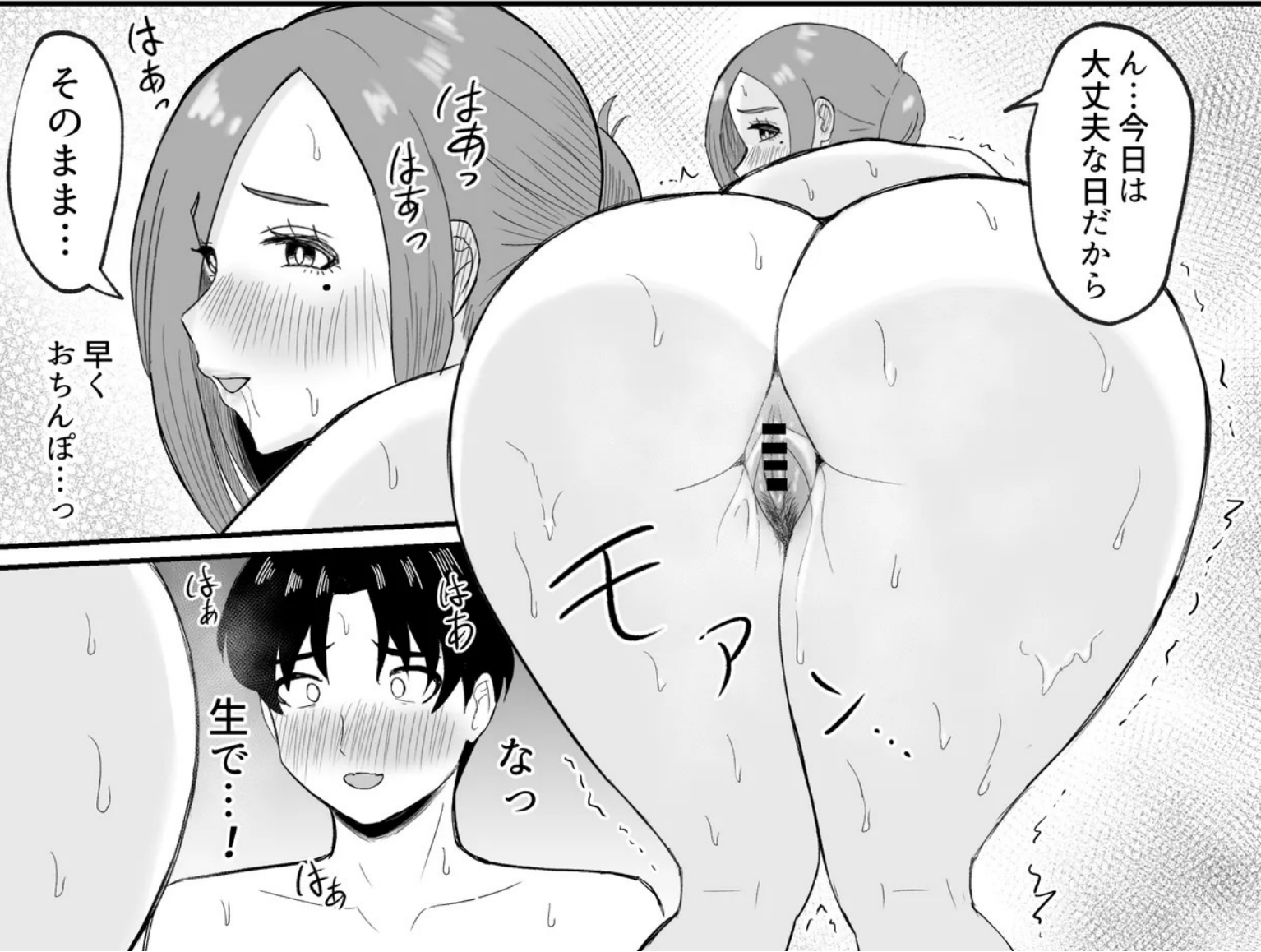
……

続きする？











うああっ アソコが
生の感触っ 喜んでますよっ
スゴい!!!

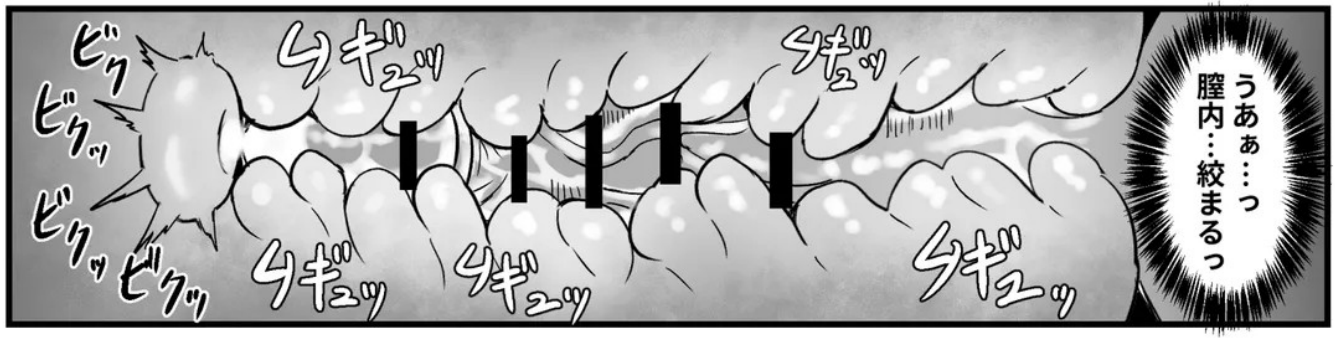
やだあ...っセンせ...っ
恥ずかしい...からっ
あっ...ああ!...そこっ

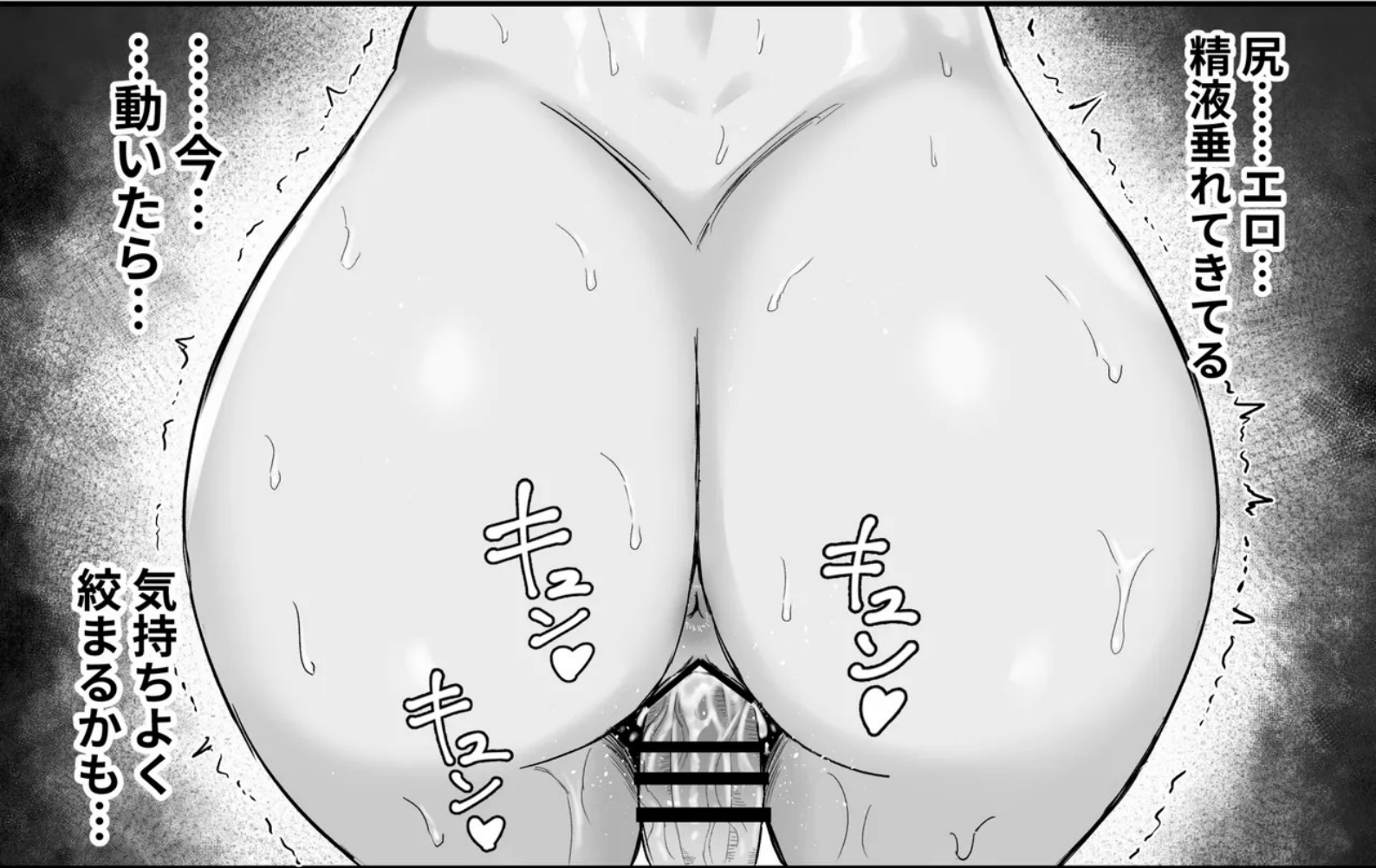


おちんちぽ
きたあー!!











どんな人が
タイプなんだろ
年上かな

ここ…
声でちゃうッ

まだ娘がいるっ
いけないのに…
……っっ!!

もしかして
年下かもっ



静かにしてて
ください…っ



今…!?



子宮…ッ
押し上げてくるッ

扉越しに
娘がいる…っ
隠さなきゃ
いけないけど…っ

あなた
小春ちゃん
ごめんなさい…っ

あなた達につ
秘密にして先生と
セックスしている

それでね
家庭教師に教えて
もらっているって
友達に言ったら…

こんな状況
だけど…っっ

私は女の本能を
忘れられない…っ!!

ん…っ
うん…っ





ドクドク

イ…イク…ツ

イ…イク…ツ

ドクドク
ドクドク





あたまね
……ママ

先生のことが
気になってるんだ



小春ちゃん
やっぱりそうなのッ

ダメッ



センセイも一人の男
何かきっかけて娘に……っ
若い女に惹かれる

はっ

小春ちゃんっ
あなたが可愛いのは
知ってる……
私の娘だもの
だけ……っ

この人を
先に手に入れたのは
私……私のものっ

いけないけどっ
このおちんちんは
渡せない……っ

結衣さん……っ
と……止まらないっ!

又キム

又キム

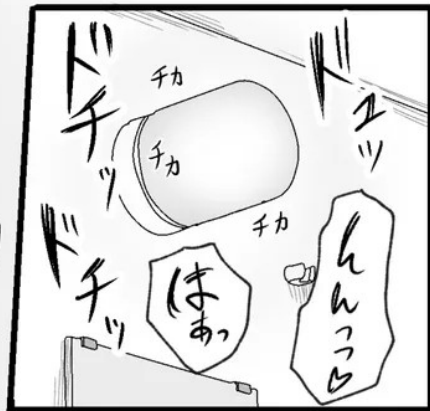
又キム

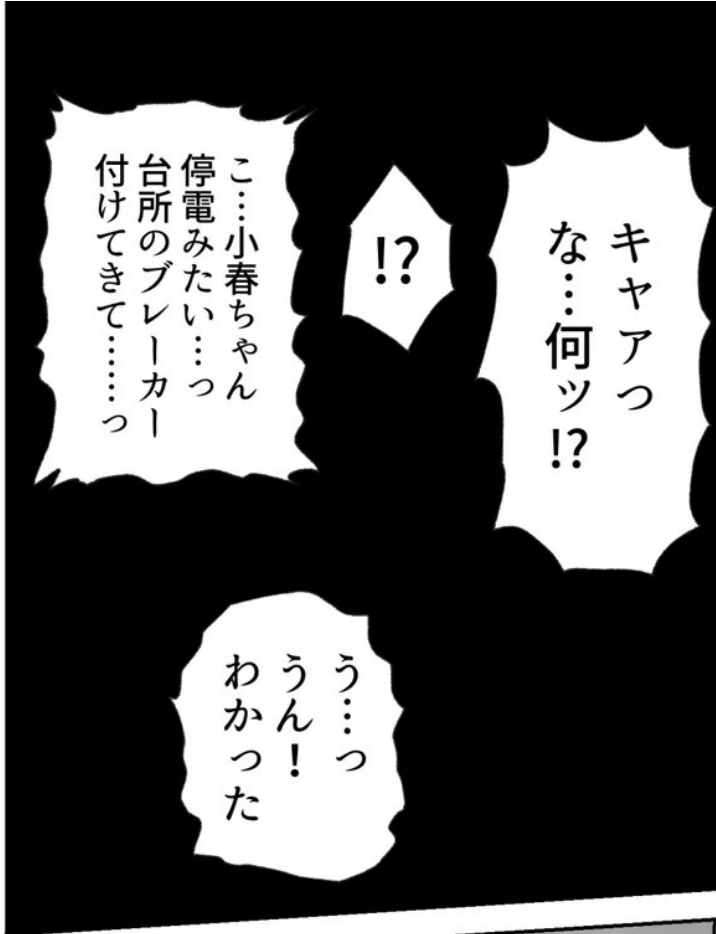






…ママ…
さつきから…
何を……？





キヤアッ
な…何ッ!?

!?

こ…小春ちゃん
停電みたい…っ
台所のブレーカー
付けてきて…っ

う…っ
うん!
わかった



先生
今のうちに…っ

はあっ

はあっ

はあっ

…っ
…はいつ

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ





発行日 2025年7月24日

著者 えまき

サークル えまきもの

X(旧ツイッター)：@EMAKI_MO

pixiv 21456015

この物語はフィクションです。
登場する人物・団体・名称等は架空であり
実在のものとは関係ありません。

無断転載・複製・データ化及びWEB上での
無断アップロード禁止